

同窓会だより

編集発行／岐阜県立本巣高等学校同窓会本部事務局
(〒501-0407 岐阜県本巣郡糸貫町仏生寺・TEL<058>324-1201)

卒業生総数：

25,458人

旧	中：	2,571人
高	女：	2,592人
高	校：	20,295人



ご
挨
拶

同窓会長 翠正明

陽春の候、皆様にはますますご健勝の段、お慶び申し上げます。

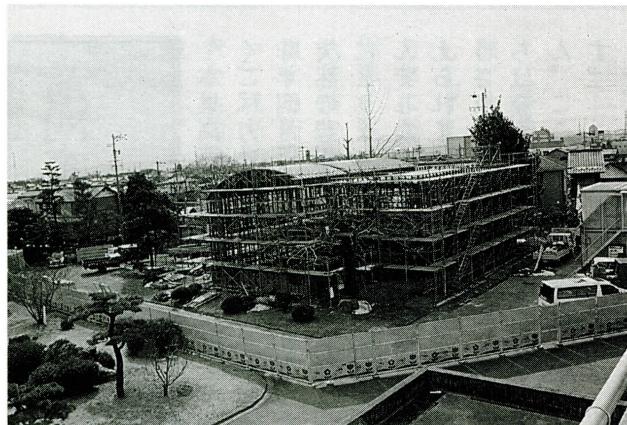
さて、西暦二〇〇〇年という記念すべき年に、本巣高等学校は創立八十周年という節目を迎えることとなりました。長引く不況の影響で寄付金が目標通りには集まらず、一時は記念事業の実行も危ぶまれました。

しかし、関係の方々のあたたかいお気持ちや、PTAの格別のご協力により、予定通り実行できる運びとなりました。

最も大きな事業である同窓会館の

創立八十周年記念事業も十月十四日(土)の記念式典に向けて、「銀杏館」の建設、八十周年記念誌「松樹」の発行、同窓会員名簿の発行等、準備も順調に進んでいます。

八十周年記念事業を推進するにあたり、平成九年十月より募金活動を進めてきました。会員及び一般の協賛者、三千四百余名の方々から、心温まる醸金をお寄せいただき、実行委員会一同感謝の念に耐えません。今後は、「銀杏館」を主軸に、益々の本巣高校同窓会の発展を期待しています。



建設進む会館 (1月22日撮影)

また記念誌は、学校の先生方が中心となり、完成に力を注いでいただいているところであります。

建設につきましては、十一月九日に起工式が行われ、目下順調に工事が進んでおります。昨年十二月の実行委員会で「銀杏館」という名称が決定いたしました。「銀杏」という名稱は学校祭や生徒会誌にも用いられており、生徒にもなじみがあります。本年五月には完成の予定でございますので、会員の皆様にもぜひ一度その姿を見ていただきたいと思います。

式典もいよいよ迫ってまいりました。同窓会への一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げまして、ご挨拶といたします。

総会報告

平成十一年度本部総会が、八月七日(土)午後三時から、「岐阜グランベール」において百三十余の出席者を得て盛大に開催されました。

総会は、翠同窓会長・森学校長による挨拶に始まり、続いて提出議案が原案通り全会一致で承認されました。なお、監事の中村啓二氏・伊藤民子氏の辞任に伴い、新しく昭和二十四年卒業の村木茂雄氏が就任されました。

総会後の懇親会は、当番学年の昭和四十四年卒業の同窓生を中心に、華やいだ雰囲気の内に進められました。

当番学年以外の参加者、特に昭和三十年以降の参加者が少なく、各学年理事の方々のご協力を願いました。

十月十四日の記念式典につきましては、参加者や日程等、総務委員会や式典委員会において、十分に検討しているところであります。当日は岐阜県知事を始め、関係官庁や市町村、高校、中学の方々を招待して盛大に式典を挙行し、本巣高校の名声を県下に広めることができたらと考えております。



八十年の歴史と伝統

学校長 森 裕夫

生きとし生けるもののみな命の喜びを謳歌する季節を迎えたが、会員の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

春の訪れとともに学校も希望と期待に胸を膨らませた新入生を迎え、若々しい歓声とともに活気が戻つて参りました。平成十二年度も順調にスタートを切つたことをご報告申し上げます。

これに先だって、三月一日には多数のご来賓、保護者参列のもとに、平成十一年度卒業証書授与式が行われ普通科・家政科合わせて三五五名の卒業生が本校をあとにしました。若々しい新たな同窓生を迎えて、全国各地の同窓会組織がさらに強化され、母校の先輩、後輩の絆が深まることを祈念いたします。

さて、在校生の活躍の一端を紹介いたします。女子バレー部が、実に十五年ぶりに県代表となり、三月二十日から東京代々木体育館で開かれた全国大会に出場しました。一回戦は、南北海道代表の札幌大谷高校に快勝し、二回戦は長崎県代表の九州文化学園高校（今大会の優勝校）と対戦し、健闘むなしく敗れましたが、学校からは二日間にわたって応援バスを出し、駆けつけていた

だいたい関東支部の同窓会の方々と在校生が一体となつた応援を展開し、ともに深い感動を味わいました。

進学面では、三月二十四日現在、金沢大学、静岡大学、岐阜大学、東京都立大学など国公立大学合格者が六十名に達しておりますが、今後も引き続き健闘を期待しているところであります。

さて、いよいよ十月十四日の創立八十周年記念式典に向けて本格的に準備が進められているところであります。とりわけ本校玄関脇に建設中の同窓会館も「銀杏館」と名付けられ、五月月中旬には竣工の予定であります。これまで、翠会長さんをはじめ、会員の皆様には、多大なご尽力をいただきましたこと、この場をお借りして、改めて厚くお礼を申し上げます。

いま、学校では、八十周年に向けて生徒・教職員一丸となって、「品位」と「活力」をテーマにした学校づくりに取り組んでいるところであります。会員の皆様には、今後とも母校に対しまして一層のご支援をお願い申し上げる次第であります。

前同窓会長を偲んで

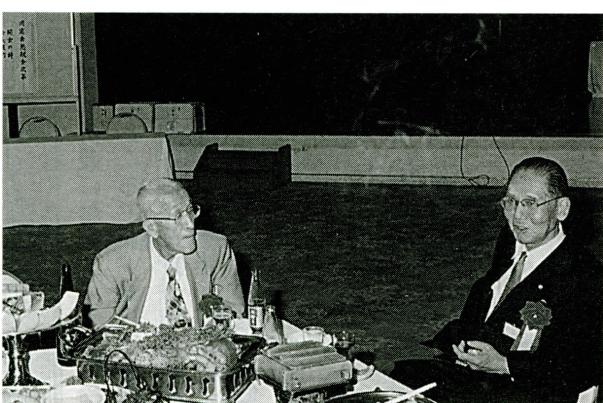
同窓会長 翠 正明

本巣高等学校同窓会長として、長く、七十周年式典の挨拶の中でも「八昨年四月三十日ご逝去されました。突然の悲報に、同窓会本部役員一同にとりまして、驚きの念は隠せませんでした。改めて哀悼痛惜の念に耐えられません。九十二歳の長寿を全うされたとはいえ、あとに続く私たちは涙をこらえることができません。ここにご冥福をお祈りいたしました。

故井深透氏は本巣中学第一回卒業生であり、本巣高校同窓会活動に対して多大なご尽力をされました。昭和四十二年には、本巣高校同窓会揖斐支部を創立され、支部長として七年間、昭和四十八年には同窓会本部の副会長に、昭和五十年には本巣高校同窓会会长に就任され、平成五年八月までの十四年間に渡り、役員会・理事会等をリードされるとともに、二万余の同窓会員をかかる団体の長として、同窓生諸氏からの深い信頼を集められていました。

会長在任中には、創立六十周年・七十周年の二つの大事業を遂行され、ことに創立六十周年記念に際しては、PTAとともに知事部局へ校地拡張を陳情される一方、同窓会員への募金活動、地元地権者への陳情

を始められました。募金目標額二百万円を大幅に越える千六百万余の净財が寄せられたことからも、その当時の貨幣価値を考えると、井深氏の人望の深さが伺えます。



歓談中の井深前会長(左)・平成10年度同窓会総会にて

支部だより

支部長 所敏勝

支部長所敏勝

平成十一年度関西支部総会は、毎年

五月に行なつていたのを今年は少し早めて、四月十一日(日)ホテルニューオオタニ大阪の十八階「フォーシーズンズ」を貸し切つて、お昼十二時より開催致しました。

前日が大雨でとても心配致しましてが、当日は絶好のお花見日和りとなり、遠く岐阜よりお越しの同窓会

平成十一年度関東支部総会は、四月四日、東京「アルカディア市ヶ谷において盛大に開催されました。

支部長 真道晃雲



關東支部

支部長 真道晃雲

本部からは、八代副会長、森校長
戸田事務局長をお迎えし、会員九三
名の参加を得て、和やかなムードで
進行、旧交を大いに温めることができ
きました。

総会では、来賓祝辞、事務報告に

岐阜支部

支部長 高橋武揚

支部長 高橋武蔵

と一体となつてその効果を最大限に挙げることが急務と、五月九日の役員会の決定により八月七日岐阜グラ
ンヴェール岐山において例年どおり本部との同一総会を開催しました。

次いで郷土史家の高橋涉氏（昭和十九年卒）が「根尾川について」のテーマで特別講演を行われ、故郷の山川、地名等の由来をユーモアを交えて披露されました。参加者一同郷土新発見の思いで聞き入っていました。

懇親会では、昨年同様、出身地別テーブルを設け、先輩後輩の交流をはかると共に、アトラクションとして、本巣、揖斐の山川、寺社、人物を並べた「追想かるさとビンゴ」を行い、格段に楽しみました。

し上げます。新千年紀という意義ある年に奇しくもわが母校の創立八十年を迎える心新たなものを感じます。八年前から本部総会がわが支部の存立する岐阜市内で行われることになって以来総会を中心とした両者の窓会活動の競合による活動効果の減殺を防ぐあり方を求めて暗中模索を重ねてきたのですが、たまたま十一年度は八十周年の多彩な記念事業計画推進（同窓会館の募金・建築等）の総仕上げの年に当たり本部の活動

わが母校は八十年の歴史と伝統をふ
まえて創立以来の文武両道の校訓の
もと、進学校としてのゆるがない地
位、女子バレーを始め高校スポーツ
界における輝かしい戦績を保持して
おられます。支部同窓の皆様の募金
への多大なご協力で本年十月には同
窓会館も開館されます。同館を訪れ
創立以来校域を囲む松の生垣い、い
ちようの林を背景に後輩生徒の智徳
体の活動を眺め、学生時代にタイム
・スリップしてみませんか。

会長の翠正明様、校長の森裕夫先生、同窓会事務局の戸田文隆先生はじめ、同窓生三十三名なごやかな春の一日を過ごしていただけた事と思

平成一〇年休会。平成十一・十二一日。金山かに本家会場にて森校長先生、翠同窓会長様以下二〇名参加開催す。在任一〇年間報告後退

尚前支部長、幹事は今年度総会に新役員を補佐す。今年度総会は例年の六月第二日曜平成十二・六・十一予定。お誘い合わせ多数御参加願います。

名古屋支部

支部長 山田武夫

望郷『鰯雲の茜に染めて傘寿校』



十五年ぶり県大会優勝

女子
バレー部

女子バレー部が、二月に行われた全国高校バレーボーラー選抜優勝大会県大会で優勝に輝き、全国大会への切符を手にしました。

尾畠監督が「全国は久しぶりなので力は未知数。までは初戦突破を目指します。」と語った通り、一回戦では札幌大谷高校を二〇のストレートで下しました。二回戦で惜しくも九州文化学園に敗れましたが、全国という大舞台を経験し

た選手たちにさらなる躍進を期待したいものです。



開会式で選手宣誓

野球部 井上主将

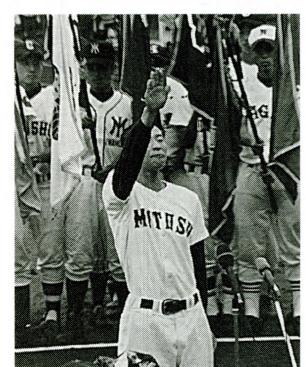
「宣誓、我々

選手一同は、ここに野球ができることを感謝しこれまで支えてくれたすべての人たちと、高校

野球に熱い思いと期待をかけてください。

最後までひたむきに全力でプレーすることを誓います。」

夏の県大会開会式で堂々と選手宣誓の大役を果たした野球部井上主将、



部活動報告

バレーボール女子

熊本国体出場

東海選抜大会

ソフトボール部

県総体

美術部

全国高校デザインコンクール

入選 9名

全国デザイン造形コンテスト

入賞 18名

書道部

国際高校生選抜書展

入選 2名

吹奏楽

中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会

県教育委員会賞・金賞

2名
第3位
第2位



国際芸術コンクール入選

川脇さん

美術部

生 国際芸術コンクールは、世界十七カ国、海外・国内一七四点の応募がありました。本校からは美術部の三年生を中心

出品し、川脇朋美さんがみごと入選しました。作品は紙風船に蜂が止まっている構成で、「一撃」というコピーバーが入ったデザイン作品です。

川脇さんは、「紙風船の青と背景の青に微妙な変化を付けて彩色しました。」

と感想を述べてくれました。大型作品が多い中で、その半分のサイズ(B2判)での入選は、まさに、「質」の高さが評価されたものでないでしょうか。



全国料理コンクール2位

河田さん 3年

東京都内で昨年十月に開かれた「第二十回牛乳・乳製品料理コンクール全国大

会」で、県代表として出場した家政科三年河田直美さんの「ギュウニユ(牛乳)ツともち込み」が第二位の農水省畜産局賞に輝きました。切り餅や金時豆を使った斬新なアイディアが評価されたものです。本校調理室で料理する様子は岐阜テレビでも放送されました。

河田さんはソフトボール部のエースとして活躍し、中部日本大会にも出場したスポーツウーマンです。

本部役員(平成11年8月7日承認)	会長 翠正明(S12)	副会長 大野君子(S11)	八代義隆(S14)	書道部 全国高校生選抜書展 入選 9名
	監事 名知和男(S26)	若原智子(S36)	吹奏楽 全国デザイン造形コンテスト 入賞 18名	
	監事 伏屋美代子(S16)	若原忠義(S17)	中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会	
	監事 村木茂雄(S24)		県教育委員会賞・金賞	
	常任理事 森義雄(S8)	浅井真澄(S20)	書道部 全国高校生選抜書展 入選 9名	
	常任理事 大西美代子(S17)	春日井昭夫(S20)		
	常任理事 林久直(S20)	山田美代子(S25)		
	常任理事 古田弘(S27)	杉山恵津子(S29)		
	常任理事 後藤正紀(S31)	青木紀士夫(S34)		
	常任理事 内藤輝男(S36)	所昭敏(S32)		